

平成24年度 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 業務実績評価(案) 新旧対照表

全体評価

項目	修正案	修正前	修正理由
1 総評	(3ページ19行目) (略)あるいは、既に入院している患者を安全かつ円滑に 移送 するための(略)	(略)あるいは、既に入院している患者を安全かつ円滑に 搬送 するための(略)	適切な表記に修正

個別評価

項目	修正案	修正前	修正理由
項目 2	(11ページ3段落目) 在宅の褥瘡患者のケアを行うための訪問看護を開始した。 <u>QOL(生活の質)</u> の確保という観点から、(略)	在宅の褥瘡患者のケアを行うための訪問看護を開始した。 <u>QOL</u> の確保という観点から、(略)	都民にも分かりやすい表示に修正
項目 8	(17ページ上段1段落目) 医療の提供に当たり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るため、診療時のインフォームド・コンセントのみならず、様々な場面で十分かつ適切な説明が行える体制づくりに努めている。具体的には、認定看護師による看護ケア外来の充実 など を行い、 <u>また、平成25年度からの実施に向けて、外来化学療法部門における認定看護師の育成や、新施設における認定看護師を配置したがん相談窓口の開設などの準備を行った。</u>	医療の提供に当たり、適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るため、診療時のインフォームド・コンセントのみならず、様々な場面で十分かつ適切な説明が行える体制づくりに努めている。具体的には、認定看護師による看護ケア外来の充実、 <u>外来化学療法部門への専門看護師の配置、新施設における認定看護師を配置したがん相談窓口の開設などである。</u>	事実関係に相違があったため修正
項目 1 1	(19ページ) 新施設において、医療費等のクレジットカード決済を導入することとした。支払方法の多様化は患者の利便性の向上に供するとともに、未収金の発生防止にも繋がると考えられるため、有益な対応策である。 <u>しかしながら、医療費の決済にかかるとは、患者の利便性の向上に繋がる一方で、(略)</u>	○新施設において、医療費等のクレジットカード決済を導入することとした。支払方法の多様化は患者の利便性の向上に供するとともに、未収金の発生防止にも繋がると考えられるため、有益な対応策である。 ○ <u>医療費の決済や再来受付を機械化することは、患者の利便性の向上に繋がる一方で、高齢の患者にとってはわかりにくい面もあり、活用されない懸念もある。利用率を上げ、真に利便性の向上を図るためにも親切かつ丁寧な案内を求める。</u>	文章の簡潔化のため、2文を1文に修正

項目	修正案	修正前	修正理由
項目12	(20ページ1段落目) 老化促進モデルマウス全エクソン領域の塩基配列の解析は時間・資金・人材が必要な研究であり、公的な研究機関として 引き続き 取り組んで 欲しい 。	老化促進モデルマウス全エクソン領域の塩基配列の解析は時間・資金・人材が必要な研究であり、公的な研究機関として 取り組んだこと 。	主旨が不明確なため修正
	(20ページ4段落目) 平成 24年度に限れば、特に目覚ましい新知見やインパクトの大きい論文があったということはないが、(略)	24年度に限れば、特に目覚ましい新知見やインパクトの大きい論文があったということはないが、(略)	正確な表記に修正
項目26	(32ページ1段落目) 未収金発生防止の一環として、分割納入を 行った が、結果的に未収金率が上昇したことは残念である。今後、分割納入の回収を確実に行っていただきたい。	未収金発生防止の一環として、分割納入を 勧めた が、結果的に未収金率が上昇したことは残念である。今後、分割納入の回収を確実に行っていただきたい。	事実と異なる表現のため修正
項目30	(35ページ2段落目) 既に入院している患者を安全かつ円滑に新施設に 移送 するため、患者 移送 計画の策定を目的とした患者基本調査や 移送 シミュレーションの実施を通じて、(略)	既に入院している患者を安全かつ円滑に新施設に 搬送 するため、患者 搬送 計画の策定を目的とした患者基本調査や 搬送 シミュレーションの実施を通じて、手順等の確認や問題点の洗い出し等を行っている。	適切な表記に修正